

平成31年度 当初予算要求の概要

局・区名

市長公室

要求総額

2,262

百万円

(対前年度予算 + 39 %)

局区予算要求方針

平成31年度の予算要求においては、本年6月に国からSDGs未来都市に選定されたことも踏まえ、本市が将来にわたり発展を続けるための次期計画の策定と、賑わい創出に向けた施策の充実に取り組みます。また、持続発展可能な泉北ニュータウン地域の再生に向けて、駅前の再編整備とまちの魅力向上につながる取組等を進めます。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 次期計画の検討と地方創世の推進

要求額

○ 堺市マスタープラン推進事業

24 百万円

取組内容

SDGs 未来都市に選定されたことも踏まえ、平成32(2020)年度に計画期間が終了する「堺市マスタープラン」の総括及び次期計画策定に向けた調査等を行う。さらに、平成31(2019)年度に計画期間が終了する「堺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定作業を行う。

○ 環濠都市堺の再生事業

13 百万円

取組内容

本市と地域の活動団体等からなる協議会（通称：環濠茶論）において、SNS等を活用した積極的な情報発信や、歴史文化資源等を活かしたイベントなどを開催する。
加えて、市において、「賑わい創出モデル事業」として、環濠河川敷の賑わい創出に向け、基盤施設に係る設計と事業者誘致に取り組む。
これらの取組を通じ、SDGsの目標である「働きがいも経済成長も」「住み続けられるまちづくりを」の実現に寄与するとともに、環濠エリアの知名度を向上させ、シビックプライドを醸成し、交流人口・定住人口の増加をめざす。

2 泉北ニュータウンの再生

○ 泉北ニュータウン駅前再編整備事業

436 百万円

取組内容

泉北ニュータウンにおいてSDGsがめざす持続発展可能なまちづくりを実現するため、近畿大学医学部及び附属病院の開設を見据えた三原台1丁交差点改良工事、原山公園の再整備等を見据えた梅・美木多駅前広場再整備工事等に着手する。加えて、光明池駅前地域のまちづくりビジョンの策定を見据え、現況調査及び事業者の意向調査に取り組む。

○ 泉北ニュータウン居住魅力向上事業

43 百万円

取組内容

泉北ニュータウン内での起業など職住近接の促進、旧高倉台西小学校跡地及び旧泉北すえむら資料館の有効活用に加え、新たに、若年層向けプロモーション事業の一環として、泉北ニュータウンに住みたいと思う人を増やすための体験ツアーを実施する。これら泉北ニュータウンの居住魅力の発信強化を行うことにより、若年層の誘引を図り、SDGsの目標である「住み続けられるまちづくりを」の実現をめざしていく。

行財政改革の項目

1 歳入の確保

効果額

○ 近隣センターオープンスペース等の使用料等の徴収

8 百万円

取組内容

大阪府タウン管理財団から、順次引継を受ける近隣センターオープンスペース及び駐車場を活用することで、行政財産目的外使用料や財産貸付料を徴収する。

※引継地区数(予定) 31年度 6か所